

令和5年11月19日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

第5回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞） 受賞者の決定と表彰式開催について

JST（理事長 橋本 和仁）は、第5回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）の受賞者を決定しました（別紙1）。表彰式は、令和5年11月19日（日）にテレコムセンタービルで開催します。

JSTはダイバーシティを推進する取り組みの中で、女性研究者の活躍を推進しています。日本では研究者に占める女性の割合がいまだに低く、研究開発プログラムなどへの女性研究者の参画も少ない状況にあります。そこで令和元年度、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者、および女性研究者の活躍を推進している機関を表彰する輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）を創設しました。

第5回となる本年度は令和5年4月3日から6月30日までの期間に募集し、外部有識者からなる選考委員会による審査を経て（別紙2）、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）1名、輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）1名の受賞者を決定しました。

表彰式では、受賞者を発表し、JSTから各受賞者に賞状と賞牌を授与するほか、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者には副賞として芦田基金[※]から賞金100万円が贈られます。また、表彰式に続き、受賞者と高校生によるトークセッション（ファシリテーター：大島 まり JSTダイバーシティ推進監）も行います。

<第5回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）表彰式・トークセッション>

日時：令和5年11月19日（日）午後1時00分～午後2時30分

会場：テレコムセンタービル（東京都江東区青海二丁目5番10号）1FオープンスペースA（サイエンスアゴラ2023会場）

※）芦田基金は、平成6年にデザイナーの故 芦田 淳 氏が、青少年育成を目的として公益社団法人科学技術国際交流センター（JISTEC）に寄附し設立された基金です。

<添付資料>

別紙1：第5回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

別紙2：輝く女性研究者賞選考委員会 委員一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 人財部 ダイバーシティ推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

小長谷 幸 (コバセ ユキ)

Tel : 03-5214-8443

E-mail : diversity[at]jst.go.jp

第5回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

（敬称略）

○輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。副賞として芦田基金から賞金100万円を贈呈。

長谷川 知子（ハセガワ トモコ） 立命館大学 理工学部 准教授

＜専門分野＞

環境システム工学、環境工学

＜経歴＞

2001年 大阪府立茨木高等学校 卒
 2006年 大阪市立大学 工学部 環境都市工学科 卒
 2008年 京都大学大学院 地球環境学舎 環境マネジメント専攻 修士課程
 修了
 2008～2011年 京都大学 日本学術振興会特別研究員（DC1）
 2011年 京都大学大学院 工学研究科 環境都市工学専攻 博士課程 修了
 2011～2014年 国立環境研究所 日本学術振興会特別研究員（PD）
 2014～2016年 国立環境研究所 特別研究員
 2016～2019年 国立環境研究所 テーマ型任期付き研究員、日本学術振興会 海外
 特別研究員、国際応用システム分析研究所（在オーストリア） 客
 員研究員
 2019～2023年 IPCC第6次評価報告書 第3次作業部会 代表執筆者
 2019年～現在 立命館大学 理工学部 環境都市工学科 准教授

＜受賞理由＞

長谷川氏は、独自に開発したシミュレーションモデルを用いて世界各国の農業・土地利用分野における気候変動政策立案や食料問題への影響に関する独創的な解析を行い、顕著な成果を挙げている。特に、将来の温室効果ガスの排出削減が食料消費や飢餓リスクにもたらす悪影響を指摘した成果については、世界的に注目を集めている。さらに、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の作業部会では代表執筆者を務めるなど、当該分野をけん引する研究者として世界的に活躍している。

研究以外でも、自身が主宰する研究室において、国際的リーダーを目指す人材の育成に貢献している。

○輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）

該当なし。

○輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。

太田 香（オオタ カオル） 室蘭工業大学 大学院工学研究科 教授

<専門分野>

情報通信、情報ネットワーク

<経歴>

2002年 福島県立会津女子高等学校 卒（現 福島県立葵高等学校）
2006年 会津大学 コンピュータ理工学部 卒
2008年 オクラホマ州立大学 大学院コンピュータサイエンス学研究科 修士課程 修了
2012年 会津大学 大学院コンピュータ理工学研究科 博士課程 修了
2009～2010年 カナダウオータールー大学 訪問研究員
2012～2013年 東北大学 JSPS特別研究員（PD）
2013～2019年 室蘭工業大学 助教
2019～2022年 室蘭工業大学 准教授、文部科学省 卓越研究員
2021年～現在 JST さきがけ研究者
2022年～現在 室蘭工業大学 教授
2023年～現在 室蘭工業大学 コンピュータ科学センター長

<受賞理由>

太田氏は、次世代通信のBeyond 5G/6Gで注目される高周波数帯（ミリ波）を活用するための特殊な反射板であるRIS（Reconfigurable Intelligent Surface）を用いた通信効率の最大化や、RISの設置場所の最適化に関する研究成果を挙げ、中国・カナダを中心に、多くの海外共同研究を展開している。

研究活動と並行して、所属大学の男女雇用参画推進室員を務め、学内外で女性研究者のロールモデルに関連した講演を行い、また、主宰する研究室からは室蘭工業大学長賞にあたる蘭岳賞の受賞女子学生も輩出し、育成した若手女性研究者は国際的に各界で活躍している。

（注）輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者に肩を並べる高い研究実績を有し、かつ、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）の受賞者と異なる研究分野または研究キャリアパスを有する応募者がいた場合、輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）を設置し賞を授与する。

輝く女性研究者賞選考委員会 委員一覧

(敬称略、委員は五十音順)

(委員長)

鳥居 啓子	テキサス大学オースティン校 ジョンソン・エンド・ジョンソンセンテニアル冠教授、ハワードヒューズ医学研究所 正研究員
-------	---

(委員)

上田 修功	理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長、NTTコミュニケーション科学基礎研究所 NTTフェロー・上田特別研究室長
大草 芳江	特定非営利活動法人 natural science 理事、有限会社 FIELD AND NETWORK 取締役
大越 慎一	東京大学大学院 理学系研究科長・理学部長、総長特任補佐、フランス CNRS 国際共同研究所 所長
北川 宏	京都大学 大学院理学研究科 教授・副プロボスト
小林 千晶	ハートフォードシャー大学 宇宙物理研究センター 教授、東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 客員上級科学研究員
所 千晴	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授、東京大学 大学院工学系研究科 システム創成学専攻 教授
中村 志保	キオクシア株式会社 メモリ技術研究所 参事
村山 斉	カリフォルニア大学バークレー校 Mac Adams 冠教授、東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 特別教授
柳沢 正史	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長

(令和5年11月6日現在)